

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日	3月 ~29日	4月 ~5日	4月 ~12日	4月 ~19日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	23	26	18	17	7	3	9	12	18	16	8	10	12	6	8	13	11	17	10	19	13
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7	8	9	10	9	5	9	9	7	6	10 (12)	6
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	2	2	0	
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	7	4	6	4	5	0	4	2	0	4	7	4	5	2	4	3	1	1	1	0	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3	4	2	2	4	1	6	2	4	3	2	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3	9	2	0	3	2	0	1	0	0	0	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第16週(4月13日~4月19日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2		2	1	1	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	つつが虫病	1			1				
		日本紅斑熱	1						1	
五類全数	7	アメーバ赤痢	1					1		
		百日咳	6					4	2	
指定	64	新型コロナウイルス感染症	64	1	1		6	46	1	9

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hccdc/>

新型コロナウイルス感染症は、全国的に感染が拡大しており、4月16日に緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大されました。

【感染予防、拡大防止対策について】

- ・健康管理に注意し、手洗いや咳エチケットなどの感染予防対策を徹底しましょう。
- ・不要不急の外出は控えましょう。やむを得ず外出する場合には、マスクを着用する、他者との距離を可能な限り2メートル以上空けるなどの対策をとりましょう。

★3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)は避けましょう。

「密閉空間(換気の悪い空間)、密集場所(多くの人が集まる場所)、密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離で会話するなど)」という3つの条件のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。

感染拡大を防ぐため、「3つの密(密閉・密集・密接)」を避けましょう。

- ・「密閉」空間にしないよう、こまめに換気をしましょう。
- ・「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう。
- ・「密接」した会話などは、避けましょう。

【参考】3つの密を避けるための手引き(首相官邸ホームページ)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c5>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	1.21		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.35	
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.46		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	1.00	2.85	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	58	2.52	8.46	⇒	流行性角結膜炎	6	0.75	0.75		
	水痘	2	0.09	0.28		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.80			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.31			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.06	
	突発性発しん	5	0.22	0.42			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.15		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	1.26		

急増減 ↑ (赤) ↓ (青)

増減 ↗ (黄) ↘ (青)

微増減 ↗ (白) ↘ (白)

横ばい ⇨ (白)

前週と比較しておおむね1:2以上の増減

前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	36	男性(90歳代)
5	アメーバ赤痢	1	3	男性(40歳代)
5	百日咳	4	35	女性(10歳未満)・3人、女性(10歳代)・1人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 嘔吐 鼻炎	2	男	2020/03/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の疾患	発熱(39.0)	66	男	2020/03/10	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載